

記者発表資料	
令和5年10月6日	
担当課 (担当)	交通政策課 小森
電話	30-8325(内線7620)

第2弾

自動運転バスの実証運行を実施します

公共交通の自動運転化を進める本市では、令和4年3月の鳥取砂丘周辺エリアに続き、このたび中心市街地において自動運転バスの実証運行を実施します。

《実証実験の目的》

- 多くの方に自動運転技術を体感していただき自動運転についての理解の深化。
- 自動運転車の運行上の課題を整理し、社会実装に向けた検証の実施。



《目標》

公共交通の自動運転化を推進し、限られた交通資源（運転手、車両等）を効率的に再配分し、市民の皆様が安心して暮らせる持続可能な地域交通体系を構築。

1. 実施体制

事業主体・事業総括／鳥取市
 運行事業者／日ノ丸自動車(株)、日本交通(株)
 運行管理者／WILLER(株)（本社：大阪府大阪市）
 車両管理者／(株)ティアフォー（本社：愛知県名古屋市）

2. 実施時期

令和6年1月22日～令和6年2月25日
 ※1/22～2/14 テスト運行（運転手のみ/乗客無し）
 2/15～2/25 市民・関係者の試乗（運賃無料）
 ※公募を実施予定

3. 実施エリア及び走行ルート

中心市街地
 ※100円循環バス「くる梨」緑コースの一部

4. 使用車両

- (1) 車両タイプ
EVバス（BYD J6）1台
- (2) 自動運転レベル
レベル4相当 ※実証時：レベル2
- (3) 最高速度
70 km/h ※実証時：35 km/h
- (4) 定員
25名（運転手含む）
※実証時：16名（運転手含む）

5. 事業費

80,000千円
 ※国交省：地域公共交通確保維持改善事業費補助金（補助率10/10）を活用
 ※令和5年度12月補正予算に計上予定。

《実施エリア・走行ルート》



《使用車両》



写真：(株)ティアフォー提供